

奈良国立文化財研究所要綱

I 事業概要

1 研究普及事業

公開講演会

- (1) 1991年6月1日 第68回公開講演会
「平城京の荷札木簡について」 寺崎 保広
「彌生社会のはじまりー木葉紋と流水紋からー」 深沢 芳樹
- (2) 1991年11月16日 第69回公開講演会
「文化財の保存科学と国際交流」 沢田 正昭
「ラオスにおける文化遺産とワット・プー」
トンサ・サヤヴォンカムディ

- (壬生門北) 森 公章
- (4) 1991年10月19日 石神遺跡第10次
大脇 潔
- (5) 1991年11月2日 坂田寺遺跡第7次
西口 寿生
- (6) 1991年11月30日 平城宮跡第213次
(第二次朝堂院東第四堂) 佐川 正敏
- (7) 1992年2月29日 雷丘北方遺跡第2次
安田龍太郎
- (8) 1992年3月7日 平城宮跡第231次
(左京三条一坊七坪) 杉山 洋

現地説明会

- (1) 1991年6月1日 平城宮跡第222次
(式部省跡) 小池 伸彦
- (2) 1991年6月15日 雷丘北方遺跡第1次
山本 忠尚
- (3) 1991年9月7日 平城宮跡第224次

平城宮跡資料館・遺構展示館

見学者数

区分	資料館	遺構展示館	計
1991年	72,226	76,257	148,483
累計	1,172,391	1,501,435	2,673,826

資料館は1970年度、遺構展示館は1963年度以降の累計

2 1991年文部省科学研究費補助金による研究

種別	研究課題	研究代表者	交付額
総合研究 (A)	遺跡発掘の機会化に伴う測定および掘削機械の開発研究	鈴木嘉吉	4,500千円
一般研究 (A)	データベースの開発による近世社寺建築研究の総括	松本修自	1,000
〃	寝殿造の総合的研究	牛川喜幸	2,400
一般研究 (B)	石器製作経過復原と製作追試実験研究	松沢重生	500
一般研究 (C)	平城宮・京出土須恵器の分類産地同定	巽淳一郎	400
〃	古代地方官衙における曹司の研究—国衙・官衙を中心として—	山中敏史	500
〃	古代宮都における内裏の基礎的研究	橋本義則	1,000
〃	日本古代の木製農耕具の復原的研究	黒崎直	1,300
〃	漆の貯蔵・運搬方法に関する基礎的研究	川越俊一	1,000
〃	2, 3世紀における中国鏡の踏返しと所謂宋代仿漢鏡の研究	立木修	800
〃	百萬塔の考古学的研究	金子裕之	900
奨励研究 (A)	正倉院文書による奈良時代の写経所研究	渡辺晃宏	900
〃	鎌倉時代の軒瓦の地域的比較研究	佐川正敏	1,000
〃	古庭園の景観保全施策に関する研究	本中真	900

ク	北方ユーラシアにおける高倉の系譜—東北アジアを中心に—	浅川 滋 男	900
試験研究(B)	コンピュータグラフィクスによる埋蔵文化財情報の管理システムの開発	工 楽 善 通	1,600
ク	航空写真情報データベース構築におけるデータ入力法の開発研究	伊 東 大 作	1,200
ク	フラックスゲートを用いた新しい磁気探査装置—三軸グラジオメーター—の開発	西 村 康	10,800
国際学術研究	日本古代都城と中国隋唐都城との考古学的比較研究	鈴 木 嘉 吉	10,000
ク	日韓における考古遺物の材質的検討と保存方法の開発研究	沢 田 正 昭	5,000
研究成果公開促進費	埋蔵文化財文献情報データ・ベース	伊 東 大 作	6,930
計	21件		53,530

総合研究(A)(新規)	1件
一般研究(A)(継続)	2件
ク(B)(継続)	1件
一般研究(C)(新規)	5件
ク(C)(継続)	2件
奨励研究(A)(新規)	4件
試験研究(B)(新規)	1件
ク(B)(継続)	2件
研究成果公開促進費(新規)	1件
国際学術研究(新規)	1件
ク(継続)	1件
計	21件

3 飛鳥資料館の運営 展 示

第一展示室 常設展示

第二展示室

春期特別展示「飛鳥時代の埋蔵文化財に関する一考察」

1991.4.27～5.26 30日間

秋期特別展示「飛鳥の源流」

1991.10.5～11.24 51日間

特別講演会

1991年10月5日

「最近の百済王宮址の発掘」 尹 武炳

1991年11月2日

「百済と飛鳥」 猪熊 兼勝

普 及

インフォメーションルームにおいて観覧者の質問に応じている。また、特別展示の刊行物として「飛鳥時代の埋蔵文化財に関する一考察」(A4版63頁)及び「飛鳥の源流」(A4版52頁)を刊行した。

入館者数(1991.4.1～1992.3.31 開館日数314日)

区 分	個人観覧	団体観覧	有 料	無 料	合 計
一 般	41,793	9,803			
高・大生	7,841	17,472	128,047	10,001	138,048
小・中生	9,757	41,381			
計	59,391	68,656			

陳列品購入

朝鮮古代石像建築仏教関係資料写真

高松塚壁画画像解析のビデオテープ

4 埋蔵文化財センターの研修・指導

研 修 埋蔵文化財の保護に資することを目的として主に地方公共団体の埋蔵文化財保護行政担当者を対象に次の研修を実施した。

- (1) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修(遺跡探査課程)
1991年5月8日～5月18日(参加者10名)
- (2) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修(環境考古課程)
1991年5月28日～6月19日(参加者23名)
- (3) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者一般研修

- (一般課程)
- 1991年7月2日～8月9日(参加者32名)
- (4) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(文化財写真課程)
1991年8月20日～9月7日(参加者21名)
- (5) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(遺跡測量課程)
1991年9月18日～10月17日(参加者15名)
- (6) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(保存科学基礎課程)
1991年10月22日～11月1日(参加者22名)
- (7) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(保存科学応用課程)
1991年11月6日～11月20日(参加者11名)
- (8) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(水田遺跡調査課程)
1991年11月26日～12月7日(参加者31名)
- (9) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修
(漆器調査課程)
1991年12月17日～12月20日(参加者28名)
- (10) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修
(縄文時代遺跡調査課程)
1992年1月8日～1月21日(参加者32名)
- (11) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修
(埋蔵文化財基礎課程)
1992年1月29日～2月6日(参加者29名)
- (12) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修
(城郭調査課程)
1992年2月13日～2月18日(参加者40名)
- (13) 平成3年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修
(有機質遺物応急処理課程)
1992年2月25日～2月29日(参加者16名)

研 修 員 一 覧 表

氏 名	所 属	受 入 れ 期 間	受 入 れ 部 局	研 究・研 修 内 容
国 内				
石 川 隆 郎	三重県埋蔵文化財センター調査1課 主事	1991.7.1～1991.9.30	平城宮跡発掘調査部	発掘調査研修
浜 口 元	同 上	1991.8.1～1991.10.31	藤原宮跡発掘調査部	同 上
国 外				
金 壽 起	大韓民国湖巖美術館保存科学研究室	1991.10.14～1991.11.13	埋文	保存科学研究
リチャード・ ケンプ	英国ヨーク市考古学トラス上級調 査員	1992.3.22～1992.3.29	同 上	考古学研究
S.P.ムッカルジー	インド考古局主任研究員	1992.3.4～1992.3.21	同 上	仏教遺跡研究
K.P.ブナーチャ	同 上	同 上	同 上	同 上
姜 進 展	中華人民共和国故宮博物院学芸員	1992.2.28～1992.8.24	同 上	保存科学研究

発掘調査・保存・整備・探査指導

(北海道) 手宮洞窟, 静川遺跡, (青森県) 高野川(2)遺跡, (岩手県) 盛岡城跡, 志波城跡, 柳之御所跡, (宮城県) 多賀城跡, (秋田県) 波宇志別神社神楽殿, 秋田城, 弘田棚跡, (山形県) 西沼田遺跡, 上杉家墓所, (福島県) 慧日寺跡, 会津松平氏, 大戸古窯跡群, 薬師堂石仏, 根岸遺跡, (茨城県) 三村山清冷院極楽寺跡及びび尼寺入魔寺跡, (栃木県) 法界寺跡, (東京都) 品川台場,

(神奈川県) 旧太田家住宅, 三殿台考古館住居跡, (新潟県) 八幡林遺跡, (石川県) 須曾蝦夷穴古墳, (福井県) 野々宮廃寺跡, 養浩館(旧御泉水屋敷)庭園, (長野県) 高梨氏館跡, 松本城跡, (岐阜県) 尾崎城跡, 野古墳群, (静岡県) 久野城跡, 賤機山古墳, 横須賀城跡, 大知波峠廃寺跡, 勝間田城跡, 巴川遺跡出土丸木舟, (愛知県) 青塚古墳, 三河国府跡, 東畑廃寺跡, 赤塚山古窯跡, (三重県) ヒタキ遺跡, 城之越遺跡, 赤木城・田

平子峠刑場跡、繩生廃寺跡、伊賀国府推定地、(滋賀県)安土城跡、木村古墳群、大岩山古墳群、粟津湖底遺跡、唐橋遺跡、兵主神社遺構、水口城跡、(京都府)円山古墳、蔵ヶ崎遺跡、長岡京跡、恭仁宮跡、瀬後谷遺跡、大覚寺御所跡大沢池、内里八丁遺跡、宇治平等院庭園、(大阪府)狭山ダム、住友銅吹所跡、難波宮跡、大庭寺窯跡、(兵庫県)赤穂城跡、鶴庄荘園遺跡、西条廃寺跡、飾東2号古墳、小犬丸遺跡、石垣山遺跡、播磨国分尼寺跡、玉津田中遺跡、長尾宅原遺跡、成相寺境内地遺跡、篠山城跡、西安田長野遺跡、袴狭遺跡、剛山古墳等、佃遺跡、箕谷古墳群、(奈良県)南紀寺遺跡、杉山古墳、於美阿志神社石塔婆、(鳥取県)梶山古墳、南谷大山遺跡、上淀廃寺跡、東桂見遺跡、鳥取城跡、(鳥取県)荒神谷遺跡、天寺廃寺跡、松江城、(岡山県)馬屋遺跡、備中松山城跡、美作国府跡、(広島県)三ツ城古墳、広島城跡、吉川氏城館跡、冠遺跡群、草戸千軒町遺跡、(山口県)綾羅木郷遺跡、萩城跡・萩城城下町、神鎮山古墳、大内氏遺跡、長登銅山跡、三田尻塩田記念公園釜屋、周防国府跡、岩国藩主吉川家墓所、(香川県)讃岐国分寺跡、弘福寺領讃岐国山田郡田原、十一面観音立像、(愛媛県)来住廃寺跡、古照遺跡、(福岡県)上の原古窯跡、太宰府史跡、鴻臚館跡、板付遺跡、(佐賀県)茶園原遺跡、名護屋城跡・陣跡、築山経塚、吉野ヶ里遺跡、基肄城跡、大黒町遺跡、肥前国府跡、(長崎県)海中遺跡、畑ノ原窯跡、(大分県)庄ノ原遺跡、虚空蔵寺瓦窯跡、普光寺磨崖仏、(宮崎県)国衙・郡衙・古寺跡、蓮ヶ池横穴群、(鹿児島県)龍徳院墓地、西丸尾遺跡、清水磨崖仏、(沖縄県)浦添城跡、北谷城跡、湧田古窯跡、今帰仁城跡

埋蔵文化財ニュース刊行

第72号 1989年度埋蔵文化財統計資料

第73号 埋蔵文化財写真業務実態調査の結果

第74号 1990年度埋蔵文化財統計資料

5 その他

委員会等

第18回飛鳥資料館運営協議会

1991年5月14日 於 飛鳥資料館

平城・飛鳥藤原宮跡調査整備指導委員会

1991年6月13・14日 於 平城宮跡資料館講堂

外国出張

松井 章 先史学における「低湿地遺跡革命」に関する会議に出席及びケンブリッジ大学において琵琶湖における発掘の講義及び文献調査のため、イギリス国へ出張

1991年4月4日～1991年4月16日

村上 隆 東西文化における古代金工技法の比較研究のため、アメリカ合衆国へ出張

1991年4月6日～1991年10月5日

佐川正敏 中国社会科学院考古研究所における研究活動のため、中華人民共和国へ出張

1991年5月15日～1991年9月1日

鈴木嘉吉、町田 章、綾村 宏、木全敬蔵 日本古代都城と中国隋唐都城との考古学的比較研究のため、中華人民共和国へ出張

1991年6月18日～1991年6月30日

上野邦一 変化時代における歴史的都市の保護に関するシンポジウムに出席のため、カナダ国へ出張

1991年6月28日～1991年7月6日

田中 琢、沢田正昭、肥塚隆保 シベリア・アルタイ地区バジリク文化王墓の発掘調査における指導・助言のため、ソビエト連邦へ出張

1991年7月1日～1991年8月2日

金子裕之 前文明期の社会組織と構造の研究のため、オーストラリアへ出張

1991年7月20日～1991年9月19日

山本忠尚 シベリア・アルタイ地区バジリク文化王墓の発掘調査における指導・助言のためソビエト連邦へ出張

1991年8月9日～1991年8月30日

工楽善通、沢田正昭、伊東太作 日韓共同研究による、考古遺物についての材質的検討分析資料の収集及び保存処理の技術についての比較研究のため、大韓民国へ出張

1991年8月13日～1991年8月24日

西村 康 考古学会議に出席・発表及び資料収集のため、イギリス国へ出張

1991年8月31日～1991年9月15日

花谷 浩 日韓馬具の比較研究のテーマのもと、韓国内の馬具その他の研究のため、大韓民国へ出張

1991年9月1日～1991年9月30日

本中 真 イタリア庭園の意匠・構造と立地環境

に関する研究のため、イタリア国へ出張
 1991年9月10日～1992年1月10日
 山本忠尚 発掘調査法の研究のため、イギリス、オランダ、ドイツ、スウェーデン国へ出張
 1991年9月24日～1991年11月18日
 玉田芳英、深澤芳樹 中国社会科学院考古研究所との共同発掘調査及び共同研究のため、中華人民共和国へ出張
 1991年10月4日～1991年12月2日
 町田 章、牛川喜幸、山崎信二、川越俊一、沢田正昭、佃 幹雄 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
 1991年10月5日～1991年10月25日
 岩本圭輔 博物館活動と地域社会に関する研究のため、スウェーデン、デンマーク、イギリス国へ出張
 1991年10月10日～1991年12月10日
 浅川滋男 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
 1991年10月11日～1991年10月31日
 工楽善通 福岡県教育委員会が1993年に開催予定している「アジア文明交流展」の展示物の予備調査のため、大韓民国へ出張
 1991年10月23日～1991年10月30日
 細見啓三 韓国と日本における遺跡調査及び整備の比較研究のため、大韓民国へ出張
 1991年11月11日～1991年11月17日
 上野邦一、高瀬要一 タイ国北部における大規模史跡の保存整備を中心とした地域計画に関する研究のため、タイ国へ出張
 1991年12月24日～1992年1月18日
 大脇 潔、館野和己、内田昭人 インド仏教遺跡の保存整備に関する基礎的調査研究のため、インド国へ出張
 1992年1月8日～1992年1月23日
 西村 康、沢田正昭 スミソニアン研究機構との研究打ち合わせ及び資料収集のため、アメリカ合衆国へ出張
 1992年1月10日～1992年1月18日
 工楽善通、西村 康、沢田正昭、伊東太作、肥塚隆保、村上 隆 日韓における考古遺物の材質的検討と保存法の開発研究に関する研究打ち合わせ及び研究成果討論会出席のため、大韓民国へ出張

1992年1月22日～1992年1月25日
 町田 章、巽淳一郎、中村慎一 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
 1992年2月1日～1992年2月10日
 肥塚隆保 アメリカにおける文化財資料の保存科学的研究及び視察のため、アメリカ合衆国へ出張
 1992年3月2日～1992年5月2日
 上野邦一 アンコール遺跡の保存修復に関する科学的・技術的調査及び研究のため、カンボジア国へ出張
 1992年3月7日～1992年3月21日
 大脇 潔 地中海沿岸諸国における瓦の起源とその伝播に関する研究のため、エジプト、イタリア、ギリシャ、トルコ国へ出張
 1992年3月14日～1992年5月14日
 細見啓三、島田敏男 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張
 1992年3月16日～1992年3月26日
 西村 康 東アジア地域の古文化財の保存科学的研究のため、アメリカ合衆国へ出張
 1992年3月18日～1992年3月31日

協力事業等

文化庁では1971年度から特別史跡藤原宮跡の国有化を進めており、1972年度から当研究所が文化庁から支出委任を受けて買取事務を担当しているが、1991年度の状況は下記のとおりである。

区分	面積	金額
1991年度	3,342.14	271,569,976
国有地合計	334,258.03	7104,391,359

Ⅱ 図書及び資料

図書 128,982冊 (1992.3.31)

区分	種別	購入	寄贈	計
1991年度	和漢書	1,035	4,611	5,646
	洋書	96	102	198
累計	和漢書	50,139	71,437	121,576
	洋書	5,896	1,510	7,406

写真 464,678点 (1991年度末)

Ⅲ 研究成果刊行物

1 1991年度刊行物

	名	称
史 料	第33冊	山内清男考古資料 3
	第34冊	山内清男考古資料 4
	第35冊	山内清男考古資料 5
図 録	第24冊	飛鳥時代の埋蔵文化財に関する一考察
	第25冊	飛鳥の源流
報告書等	1990年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報	
	飛鳥・藤原宮発掘調査概報21	
	平城宮発掘調査出土木簡概報24	
	飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報 10	

2 前年度までの刊行物

奈良国立文化財研究所学報

年度	名	称
1954	第1冊	仏師運慶の研究
	第2冊	修学院離宮の復原的研究
1955	第3冊	文化史論叢
1956	第4冊	奈良時代僧房の研究
1957	第5冊	飛鳥寺発掘調査報告
1958	第6冊	中世庭園文化史
	第7冊	興福寺食堂発掘調査報告
1959	第8冊	文化史論叢Ⅱ
	第9冊	川原寺発掘調査報告
1960	第10冊	平城宮跡第一次・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告
	第11冊	院の御所と御堂—院家建築の研究—
1962	第12冊	巧匠安阿弥陀仏快慶
	第13冊	寝殿造系庭園の立地的考察
	第14冊	唐招提寺蔵「レース」と「金亀舍利塔」に関する研究
	第15冊	平城宮発掘調査報告Ⅱ 官衙地域の調査
1963	第16冊	平城宮発掘調査報告Ⅲ 内裏地域の調査
1965	第17冊	平城宮発掘調査報告Ⅳ 官衙地域の調査
	第18冊	小堀遠州の作事
1967	第19冊	藤原氏の氏寺とその院家
1969	第20冊	名物裂の成立

1971	第21冊	研究論集Ⅰ
1973	第22冊	研究論集Ⅱ
1974	第23冊	平城宮発掘調査報告Ⅵ 平城京左京一条三坊の調査
	第24冊	高山一町並調査報告—
1975	第25冊	平城京左京三条二坊
	第26冊	平城宮発掘調査報告Ⅶ
1976	第27冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅰ
	第28冊	研究論集Ⅲ
	第29冊	木曾奈良井一町並調査報告—
1977	第30冊	五条一町並調査の記録—
1977	第31冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ
	第32冊	研究論集Ⅳ
1978	第33冊	イタリア中部の一山岳集落における民家調査報告
	第34冊	平城宮発掘調査報告Ⅸ
1978	第35冊	研究論集Ⅴ
	第36冊	平城宮整備調査報告Ⅰ
1979	第37冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅲ
	第38冊	研究論集Ⅵ
1980	第39冊	平城宮発掘調査報告Ⅹ
1981	第40冊	平城宮発掘調査報告Ⅺ
1984	第41冊	研究論集Ⅶ
	第42冊	平城宮発掘調査報告Ⅻ
1985	第43冊	日本における近世民家（農家）の系統的発展
	第44冊	平城京左京三条二坊六坪発掘調査報告
1986	第45冊	薬師寺発掘調査報告
1988	第46冊	平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告書
	第47冊	研究論集Ⅷ
1990	第48冊	年輪に歴史を読む—日本における古年輪学の成立—
	第49冊	研究論集Ⅸ
	第50冊	平城宮跡発掘調査報告書ⅩⅢ

奈良国立文化財研究所史料

年度	名	称
1954	第1冊	南無阿弥陀仏作善集（複製）
1955	第2冊	西大寺寂尊伝記集成
1963	第3冊	仁和寺史料 寺誌編 1
1964	第4冊	俊乗坊重源史料集成
1966	第5冊	平城宮木簡 1 図版
1967	第6冊	仁和寺史料 寺誌編 2
1969	第5冊	平城宮木簡 1 解説（別冊）
1970	第7冊	唐招提寺史料 1

1974	第8冊	平城宮木簡2 図版・解説
	第9冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅰ
1975	第10冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅱ
1976	第11冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅲ
1977	第12冊	藤原宮木簡1 図版・解説
	第13冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅳ
1978	第14冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅴ
	第15冊	東大寺文書目録第1巻
1979	第16冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅵ
	第17冊	平城宮木簡3 図版・解説
	第18冊	藤原宮木簡2 図版・解説
	第19冊	東大寺文書目録第2巻
1980	第20冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅶ
	第21冊	東大寺文書目録第3巻
1981	第22冊	七大寺巡礼私記
	第23冊	東大寺文書目録第4巻
1982	第24冊	東大寺文書目録第5巻
	第25冊	平城宮出土墨書土器集成Ⅰ
1983	第26冊	東大寺文書目録第6巻
1984	第27冊	木器集成図録—近畿古代編—
1985	第28冊	平城宮木簡4 図版・解説
	第29冊	興福寺典籍文書目録第1巻
1988	第30冊	山内清男考古資料1 真福寺貝塚資料他
	第31冊	平城宮出土墨書土器集成Ⅱ
1989	第32冊	山内清男考古資料2

1980	第7冊	日本古代の鴟尾
1981	第8冊	山田寺展
1982	第9冊	高松塚拾年
1983	第10冊	渡来人の寺—桧隈寺と坂田寺—
	第11冊	飛鳥の水時計
	第12冊	小建築の世界—埴輪から瓦塔まで—
1984	第13冊	藤原宮—半世紀にわたる調査と研究—
1985	第14冊	日本と韓国の塑像
	第15冊	飛鳥寺
1986	第16冊	飛鳥の石造物
1987	第17冊	萬葉乃衣食住
	第18冊	壬申の乱
1988	第19冊	古墳を科学する
	第20冊	聖徳太子の世界
1989	第21冊	仏舍利埋納
	第22冊	法隆寺金堂壁画飛天
1990	第23冊	日本書記を掘る

Ⅳ 定員

区分	指定職	行政職(一)	行政職(二)	研究職	計
1991年度	1	22	2	61	86
1992年度	1	22	2	61	86

奈良国立文化財研究所基準資料

年度	名 称
1973	第1冊 瓦編1 解説
1974	第2冊 瓦編2 解説
1975	第3冊 瓦編3
1976	第4冊 瓦編4
	第5冊 瓦編5
1978	第6冊 瓦編6
1979	第7冊 瓦編7
1980	第8冊 瓦編8
1983	第9冊 瓦編9

飛鳥資料館図録

年度	名 称
1976	第1冊 飛鳥白鳳の在銘金銅仏
	第2冊 飛鳥白鳳の在銘金銅仏 銘文篇
1977	第3冊 日本古代の墓誌
1978	第4冊 日本古代の墓誌 銘文篇
	第5冊 古代の誕生仏
1979	第6冊 飛鳥時代の古墳—高松塚とその周辺—

Ⅴ 予 算 (1991年度)

人件費	646,719千円
運営費	861,770
事業管理	6,026
一般研究	57,107
特別研究	61,428
発掘調査	512,909
宮跡整備管理	69,967
飛鳥資料館運営	52,513
埋蔵文化財センター運営	49,803
新庁舎維持管理等経費	27,655
飛鳥藤原宮跡発掘調査部 施設新営に伴う経費	24,362
施設費	406,373
施設整備費	67,252
平城宮跡等整備費	324,553
各所修繕費	14,568
計	1,914,862

Ⅵ 施設

土地

奈良国立文化財研究所所管	47,890m ²
本庁舎	8,860m ²
飛鳥藤原宮跡発掘調査部	20,515m ²
飛鳥資料館	17,092m ²
郡山宿舎(ニ)	80m ²
飛鳥資料館宿舎	1,343m ²
文化庁所管(関係分)	1,421,668m ²
平城宮跡地区	1,082,585m ²
藤原宮跡地区	334,042m ²
飛鳥稲淵宮殿跡地区	5,041m ²

建物

28,521m²

1. 庁舎

28,035m²

区分	本庁舎	平城	藤原	飛鳥資料館	藤原宮跡	計
	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
事務室	568	122	197	90		977
研究・整理室	1,419	1,642	1,205	77		4,069
資料・図書室	1,021		383	36		1,440
会議室	338		129	42		509
講堂		384	210	89		683
展示室		845	254	648		1,747
写真室	79	256	149	64		548
遺構展示棟		1,408				1,408
車庫	84	968	352	94		1,498
倉庫・収蔵庫	123	4,728	2,041	480		7,372
研修棟	1,416					1,416
その他	1,673	1,818	1,506	1,061	36	6,094
計	6,721	12,171	6,426	2,681	36	28,035

2. 宿舎等

486m²

重要文化財旧米谷家住宅	213m ²
郡山宿舎(ニ)	48m ²
飛鳥資料館宿舎	225m ²

主要工事

(1) 平城宮跡地等整備費	千円
平城宮跡朱雀門基壇復原工事	81,360
平城宮跡宮内省西北殿復原工事	116,236
平城宮跡兵部省地区復原整備工事	86,314
平城宮跡北面大垣地区整備工事	8,724
平城宮跡第1次大極殿地区地形造成工事	16,305
平城宮跡大型遺物倉庫周辺外構整備工事	2,091

藤原宮跡東方官衙地区苑路造成工事 13,112

(2) 官庁営繕費

奈文研大型遺物処理棟建築工事(平成3年度分) 55,826

奈文研大型遺物処理棟設備工事 11,423

(3) その他(各所修繕・庁費)

飛鳥資料館給水設備改修工事 1,648

本庁舎非常照明用蓄電池取替工事 2,781

第3収蔵庫非破壊分析実験室空調設備改修工事 1,782

Ⅶ 人事移動 (1991.4.1~1992.3.31)

4月1日 庶務部庶務課庶務係長に昇任

美濃越進

庶務部会計課経理係主任に昇任

林 正一郎

埋蔵文化財センター教室室長に昇任

白井 国明

飛鳥資料館庶務室庶務主任に昇任

中西 健夫

庶務部会計課専門職員に転任

櫻井 雅樹

平城宮跡発掘調査部考古第一調査室に

転任 中村 慎一

文部技官(平城宮跡発掘調査部考古第

三調査室)に採用 岸本 直文

事務補佐員(庶務部庶務課)に採用

溝上 裕子

事務補佐員(庶務部会計課)に採用

米田 淳子

研究補佐員(飛鳥藤原宮跡発掘調査

部)に採用 伊藤 武

研究補佐員(飛鳥藤原宮跡発掘調査

部)に採用 村田 裕一

文化庁建造物課主任文化財調査官に転

任 宮本長二郎

和歌山大学学生部厚生課長に転任

登り 惇哉

大阪大学庶務部人事課専門職員に転任

大槻 宏

奈良女子大学会計課用度係長に転任

新井 耕治

大阪大学工作センター事務掛会計主任

に転任 岡本 安司

国立民族学博物館情報管理施設情報システム課に転任 今中 弘行

4月16日 事務補佐員（庶務部会計課）に採用 森本はぎ子

4月29日 御逝去 吉村 司朗

4月30日 辞職 吉田 和子

辞職 西川 寿勝

7月1日 平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 杉山 洋

飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に昇任 岩永 省三

7月10日 事務補佐員（庶務部会計課）に採用 小林 玉美

事務補佐員（庶務部会計課）に採用 林 和子

7月31日 辞職 河村 京子

辞職 細井 雅子

10月1日 埋蔵文化財センター情報資料室に配置換 森本 普

1月1日 文部技官（平城宮跡発掘調査部考古第一調査室）に採用 白杵 勲

文部技官（平城宮跡発掘調査部遺構調査室）に採用 藤田 盟児

Ⅷ 組織規程

文部省組織令〈抜粋〉

昭和59年6月28日 政令第227号

第2章 文化庁

第3節 施設等機関 (施設等機関)

第108条 文化庁長官の所轄の下に、文化庁に国立国語研究所を置く。

2 前項に定めるもののほか、文化庁に次の施設等機関を置く。

(中略)

国立文化財研究所

(国立文化財研究所)

第114条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行う機関とする。

2 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。

3 国立文化財研究所及びその支所の名称、位置及び内部組織は、文部省令で定める。

文部省設置法施行規則〈抜粋〉

昭和28年1月13日 文部省令第2号

第5章 文化庁の施設等機関

第4節 国立文化財研究所

第1款 名称及び位置

(名称及び位置)

第116条の9 国立文化財研究所の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東京都台東区
奈良国立文化財研究所	奈良県奈良市

第2款 奈良国立文化財研究所

(所長)

第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。

2 所長は、所務を掌理する。

(内部組織)

第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務部、建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部及び飛鳥藤原宮跡発掘調査部を置く。

2 前項に定めるもののほか、奈良国立文化財研究所に、飛鳥資料館及び埋蔵文化財センターを置く。

(庶務部の分課及び事務)

第125条 庶務部に、次の二課を置く。

一 庶務課

二 会計課

2 庶務課においては、次の事務をつかさどる。

一 職員の人事に関する事務を処理すること。

二 職員の福利厚生に関する事務を処理すること。

三 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。

四 この研究所の所掌事務に関し、連絡調整すること。

五 この研究所の所掌に係る遺構及び遺物の保全のための警備に関すること。

六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。

3 会計課においては、次の事務をつかさどる。

一 予算に関する事務を処理すること。

二 経費及び収入の決算その他会計に関する事務を処理すること。

三 行政財産及び物品の管理に関する事務を処

理すること。

四 庁舎及び設備の維持、管理に関する事務を処理すること。

五 庁内の取締りに関すること。

第126条 削除

(建造物研究室等の事務)

第127条 建造物研究室においては、建造物及び伝統的建造物群に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

2 歴史研究室においては、考古及び史跡並びに歴史資料に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

(平城宮跡発掘調査部の六室及び事務)

第128条 平城宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、考古第三調査室、遺構調査室、計測修景調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、平城宮跡に関し、次項から第6項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。

3 考古第一調査室、考古第二調査室及び考古第三調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く。)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥藤原宮跡発掘調査部の四室及び事務)

第129条 飛鳥藤原宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、遺構調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、藤原宮跡及び飛鳥地域における宮跡その他の遺跡に関し、次項から第5項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。

3 考古第一調査室及び考古第二調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く。)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び

調査研究、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

5 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥資料館)

第130条 飛鳥資料館においては、飛鳥地域の歴史的意義及び文化財に関し、国民の理解を深めるため、この地域に関する考古資料、歴史資料その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供し、あわせてこれらに関連する調査研究及び事業を行う。

(飛鳥資料館の館長)

第131条 飛鳥資料館に、館長を置く。

2 館長は、館務を掌理する。

(飛鳥資料館の二室及び事務)

第132条 飛鳥資料館に、庶務室及び学芸室を置く。

2 庶務室においては、飛鳥資料館の庶務、会計等に関する事務を処理する。

3 学芸室においては、次の事務をつかさどる。

一 飛鳥地域に関する考古資料、歴史資料、建造物、絵画、彫刻、典籍、古文書その他の資料の収集、保管、展示、模写、模造、写真の作成、調査研究及び解説を行うこと。

二 飛鳥地域に関する図書、写真その他の資料の収集、整理、保管、展示、閲覧及び調査研究を行うこと。

三 飛鳥資料館の事業に関する出版物の編集及び刊行並びに普及宣伝を行うこと。

(埋蔵文化財センター)

第133条 埋蔵文化財センターにおいては、次の事務をつかさどる。

一 埋蔵文化財に関し、調査研究及びその結果の公表を行うこと。

二 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の埋蔵文化財調査関係職員その他の関係者に対して、専門的、技術的な研修を行うこと。

三 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、専門的、技術的な指導及び助言を行うこと。

四 埋蔵文化財に関する情報資料の作成、収集、整理、保管及び調査研究を行い、並びに地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、その利用に供すること。

(埋蔵文化財センターの長)

第134条 埋蔵文化財センターに長を置く。

2 前項の長は、埋蔵文化財センターの事務を掌理する。

(埋蔵文化財センターの内部組織)

第135条 埋蔵文化財センターに、教務室、研究指導部及び情報資料室を置く。

(教務室の事務)

第136条 教務室においては、研修の実施に関する事務を処理するほか、埋蔵文化財センターの庶務に関する事務をつかさどる。

(研究指導部の六室及び事務)

第137条 研究指導部に、考古計画研究室、集落遺跡研究室、発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室を置く。

2 考古計画研究室においては、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(他の室の所掌に属するものを除く。)をつかさどる。

3 集落遺跡研究室においては、集落遺跡に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室の所掌に属するものを除く。)をつかさどる。

4 発掘技術研究室においては、遺跡の発掘技術に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

5 遺物処理研究室においては、遺物の処理に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

6 測量研究室においては、埋蔵文化財の測量に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

7 保存工学研究室においては、遺跡の保存整備に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

(情報資料室の事務)

第138条 情報資料室においては、第133条第4号に掲げる事務をつかさどる。

(客員研究員)

第139条 奈良国立文化財研究所に客員研究員を

置くことができる。

2 客員研究員は、所長の命を受け、奈良国立文化財研究所において行う調査研究に参画する。

3 客員研究員は、非常勤とする。

改正	昭和43年6月15日	文部省令第20号
	昭和45年4月17日	文部省令第11号
	昭和48年4月12日	文部省令第6号
	昭和49年4月11日	文部省令第10号
	昭和50年4月2日	文部省令第13号
	昭和51年5月10日	文部省令第16号
	昭和52年4月18日	文部省令第10号
	昭和53年4月5日	文部省令第19号
	昭和53年9月9日	文部省令第33号
	昭和55年4月5日	文部省令第14号
	昭和55年6月25日	文部省令第23号
	昭和58年10月1日	文部省令第25号
	昭和59年6月30日	文部省令第37号
	昭和63年4月8日	文部省令第12号

職員 (1992年7月1日現在)

所属	氏名	官職	担当	
	鈴木 嘉吉	文部技官 所長		
庶務課	小菅 康男	文部事務官 部長	平城事務	
	馬場 祐次朗	文部事務官 課長	長補佐員	
	宮谷 浩	文部事務官 課長	長補佐員	
	西田 健三	文部事務官 専門係	長	
	美濃越 進	文部事務官 庶務	長	
	桑原 隆佳	文部事務官	庶務人	
	岡田 博先	文部事務官 警務	長	
	港 悦子	事務補佐員	庶務	
	大西 和子	事務補佐員	庶務	
	福本 良子	事務補佐員	庶務	
	新宮 恵子	事務補佐員	庶務	
	巽 月子	事務補佐員	庶務	
	本中 宣代	事務補佐員	図書資料	
	中川かよ子	事務補佐員	図書資料	
	中垣 睦美	事務補佐員	図書資料	
	石川千恵子	研究補佐員	図書資料	
	庶務課	松岡 進	文部事務官 課長	長補佐員
		小野 祐治	文部事務官 課長	長補佐員
渡辺 康史		文部技官 専門係	職員	
阪本 勇		文部技官 専門係	職員	
櫻井 雅樹		文部事務官 経理	係長	
年梅 徹		文部事務官 経理	主任	
林 正一郎		文部事務官	経理	
宍戸 雅子		事務補佐員	経理	
森本はぎ子		事務補佐員	経理	
小林 玉美		事務補佐員	経理	
小林 雅文		文部事務官 用度係	長	
松本 正典		文部事務官	用度	
飯田 信男		文部技官	自動車運	
林 和子		事務補佐員	用度	
上村 敬子		事務補佐員	用度	
阪本 勇		文部技官	施設係長(兼任)	
小園 秀彦		文部技官	施設	
上垣内茂樹		文部技官	施設	
永井 和代	事務補佐員	施設		
米田 淳子	事務補佐員	施設		
建造物研究室	細見 啓三	文部技官 室長	建築	
	山岸 常人	文部技官 (併任)	建築	
	小野 健吉	文部技官 (併任)	庭園	
	島田 敏男	文部技官 (併任)	建築	
藤田 盟児	文部技官 (併任)	建築		
歴史研究室	綾遺 宏	文部技官 室長	歴史	
	安田龍太郎	文部技官 (併任)	考古	
	橋本 義則	文部技官 (併任)	歴史	
	小澤 毅	文部技官 (併任)	考古	
	渡邊 晃宏	文部技官 (併任)	歴史	
	森本 晋	文部技官 (併任)	考古	

所属	氏名	官職	担当
古城跡	町田 章	文部技官 部長	
	金子 裕之	文部技官 室長	考古
	小池 伸彦	文部技官	考古
	中村 慎一	文部技官	考古
	白杵 勲	文部技官	考古
	毛利光俊彦	文部技官 室長	考古
	玉田 芳英	文部技官	考古
	巽 淳一郎	文部技官 (併任)	考古
	杉山 洋	文部技官 (併任)	考古
	山崎 信二	文部技官 室長	考古
	小澤 毅	文部技官	考古
	岸本 直文	文部技官	考古
	佐川 正敏	文部技官 (併任)	考古
	上野 邦一	文部技官 室長	建築
	藤田 盟児	文部技官	建築
	松本 修自	文部技官 (併任)	建築
	浅川 滋男	文部技官 (併任)	建築
	宮跡	高瀬 要一	文部技官 室長
内田 和伸		文部技官	遺跡
小野 健吉		文部技官 (併任)	遺跡
町田 章		文部技官 室長(事務取扱)	歴史
森 公章		文部技官	歴史
渡邊 晃宏		文部技官	歴史
館野 和己		文部技官 (併任)	歴史
寺崎 保広		文部技官 (併任)	歴史
巽 淳一郎		文部技官 主任研究官	考古
松本 修自		文部技官 主任研究官	建築
館野 和己		文部技官 主任研究官	歴史
寺崎 保広		文部技官 主任研究官	歴史
佐川 正敏		文部技官 主任研究官	考古
杉山 洋		文部技官 主任研究官	考古
小野 健吉		文部技官 主任研究官	遺跡
浅川 滋男		文部技官 主任研究官	建築
西田 健三		文部事務官 事務総括(兼任)	事務
岡田 博先		文部事務官 (兼任)	警備
佃 幹雄	文部技官 専門員	写真	
井上 直夫	文部技官 専門員	写真	
牛島 茂	文部技官 専門員	写真	
飛鳥藤原宮跡	牛川 喜幸	文部技官 部長	
	黒崎 直	文部技官 室長	考古
	深澤 芳樹	文部技官 (併任)	考古
	花谷 浩	文部技官 (併任)	考古
	井上 直夫	文部技官 (併任)	写真
	大脇 潔	文部技官 室長	考古
	西口 寿生	文部技官 (併任)	考古
	肥塚 隆保	文部技官 (併任)	考古
	岩永 省三	文部技官 (併任)	考古

所属	氏名	官職	担当
飛鳥史料調査室	山本 忠尚	文部技官室長	考古建築園
	島田 敏男	文部技官	建築園
	山岸 常人	文部技官(併任)	遺跡庭園
	本中 真	文部技官(併任)	遺跡庭園
藤原	川越 俊一	文部技官室長	考古古史
	安田龍太郎	文部技官(併任)	考古古史
	橋本 義則	文部技官(併任)	考古古史
宮跡発掘調査部	安田龍太郎	文部技官主任研究官	考古学
	肥塚 隆保	文部技官主任研究官	保存科学
	西口 寿生	文部技官主任研究官	建築園
	山岸 常人	文部技官主任研究官	遺跡庭園
	本中 真	文部技官主任研究官	考古古史
	深澤 芳樹	文部技官主任研究官	考古古史
	橋本 義則	文部技官主任研究官	考古古史
	岩永 省三	文部技官主任研究官	考古古史
	花谷 浩	文部技官主任研究官	考古古史
	櫻井 雅樹	文部事務官事務総括(兼任)	古事務
	吉岡佐和子	事務補佐員	古事務
	平山 重利	技能補佐員	古事務
	宮川 伴子	研究補佐員	資料整理
	伊藤 武	研究補佐員	考古古
	村田 和弘	研究補佐員	考古古
飛鳥史料室芸館	鈴木 嘉吉	文部技官館長(事務取扱)	
	家村 庸男	文部事務官室長	保守備務
	中西 建夫	文部事務官庶務主任	保守備務
	乾 春雄	技能補佐員	保守備務
	藤本 清	警務補佐員	保守備務
	福井 敏子	業務補佐員	保守備務
	森井 恵三子	業務補佐員	保守備務
	米川 まち子	業務補佐員	保守備務
	工楽 善通	文部技官室長	考古古
	岩本 圭輔	文部技官主任研究官	考古古
	千田 剛道	文部技官主任研究官	考古古
	大谷 照子	事務補佐員	古事務

所属	氏名	官職	担当		
埋蔵文化財指導部	佐原 眞	文部技官センター長			
	教務室	白井 国明	文部事務官室長	事務	
		川島 保夫	文部事務官教務係長	事務	
		岩永 恵子	事務補佐員	事務	
		牛嶋 茂	文部技官(併任)	事務	
	研究室	猪熊 兼勝	文部技官部長	写真	
		考古計画集落遺跡発掘技術遺物処理研究室	松沢 亜生	文部技官室長	考古古
			立木 修	文部技官(併任)	考古古
		山中 敏史	文部技官室長	考古古	
			上原 真人	文部技官(併任)	考古古
		西村 康章	文部技官室長	考古古	
			松井 章	文部技官(併任)	考古古
		沢田 正昭	文部技官室長	保存科学	
			村上 隆	文部技官(併任)	保存科学
		測量研究室	木全 敬威	文部技官室長	測量
光谷 拓実	文部技官(併任)		遺跡庭園		
松井 修章	文部技官(併任)		考古古		
保存工学研究室	猪熊 兼勝	文部技官室長(事務取扱)	考古建築		
	内田 昭人	文部技官(併任)	建築		
情報資料室	光谷 拓実	文部技官主任研究官	遺跡庭園		
	上原 真人	文部技官主任研究官	考古建築		
	内田 昭人	文部技官主任研究官	考古建築		
	立木 修章	文部技官主任研究官	考古古		
	松井 修章	文部技官主任研究官	保存科学		
伊東 太作	文部技官室長	測量			
	森本 晋	文部技官	考古古		

